

2026 年 10 月 15 日
株式会社 TSUMUGU HOLDINGS
(札幌 3055)

TSUMUGU HOLDING グループの株式会社竹山、 稚内・利尻・礼文を結ぶ医療機器ドローン輸送の実証実験を実施

～医療機関への輸送時間を最大約 1 時間短縮～

北海道に根ざした地域包括ヘルスケア企業グループとして事業を展開する株式会社 TSUMUGU HOLDINGS（所在地：札幌市中央区、代表者：代表取締役社長 眞鍋雅信、以下「当社」）は、連結子会社で医療機器卸売事業を展開する株式会社竹山（所在地：札幌市中央区、代表者：代表取締役社長 土田拓也、以下「竹山」）が、伊藤忠商事株式会社（所在地：東京都港区、代表者：代表取締役社長 COO 石井敬太、以下「伊藤忠商事」）、一般社団法人ドローン大学校（所在地：東京都港区、代表者：代表理事 名倉真悟、以下「ドローン大学校」）を共同実施者として、稚内市・利尻島・礼文島を結ぶ、ドローンによる医療機器輸送の実証実験を実施しましたので、お知らせいたします。

本実証では、竹山が自社購入・本格導入した¹Wingcopter 社製 eVTOL 型ドローン「W198」を使用し、ドローンによる輸送に加え、着陸後の医療機関までの陸送も行いました。実証の結果、平均風速 8～10m/s の風の中を飛行し、全区間で対象物の輸送に成功いたしました。また、医療機関までの輸送では、フェリーと自動車による輸送と比べ、所要時間を最大約 1 時間短縮いたしました。

なお、稚内市・利尻島・礼文島の 3 地域を結ぶドローンによる医療機器輸送の実証実験は、本邦初となります。²



飛行するドローン



利尻島の医療機関へ AED を引き渡す様子

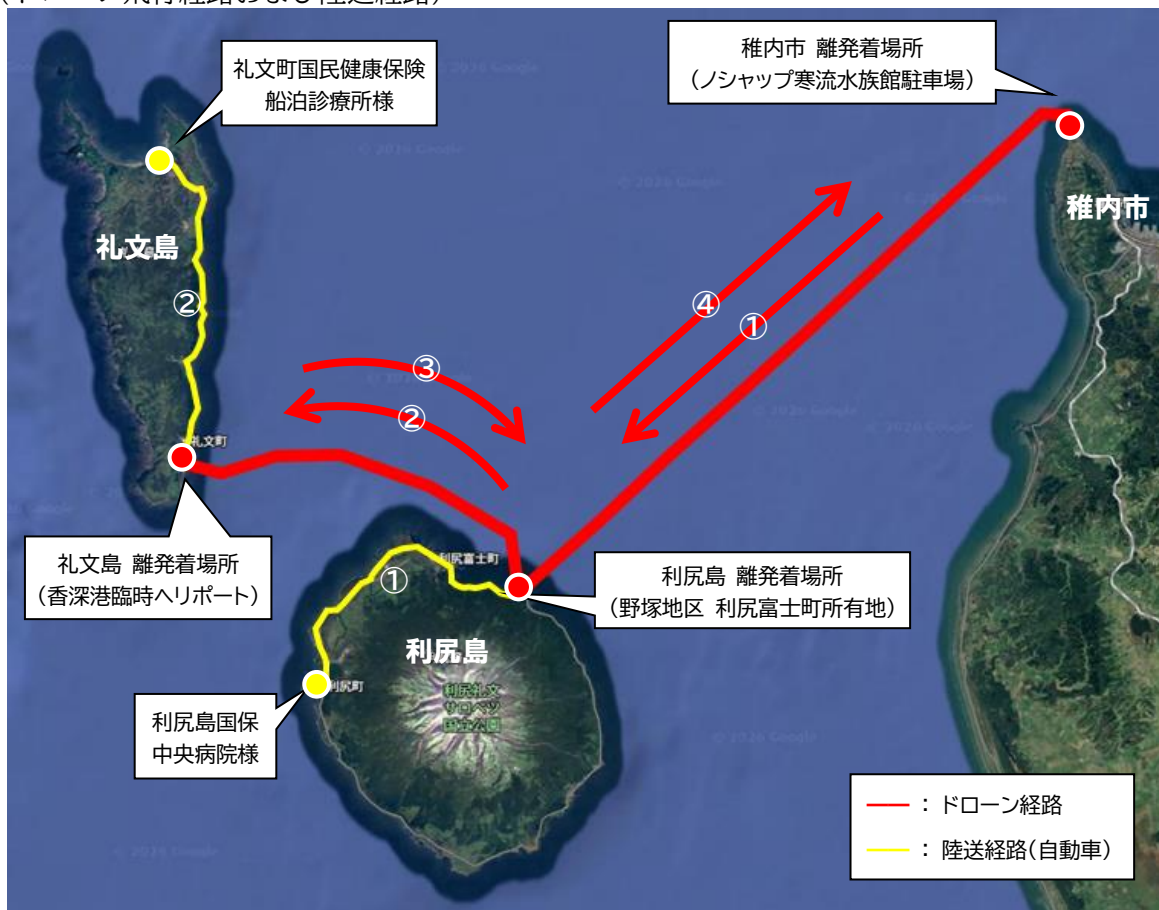
¹ 2026 年 5 月 15 日当社発表「次世代医療物流の実現に向けた取り組みを本格始動 医療機器卸の株式会社竹山、独製最新ドローンを導入 ～自社運航を目的とする本機の購入・本格導入は国内初～」

² 当社調べ

1 実証の概要

背景・目的	物流の大半を海上輸送に頼る離島地域は、医療に必要な物資の安定供給が課題となる場合があります。 離島地域における持続可能な医療物流体制の構築に向け、ドローンによる医療機器輸送の有効性や安全性を検証しました。
実施日	2026 年 10 月 7 日
実施主体	株式会社竹山
共同実施者	伊藤忠商事株式会社（機体メーカーとの連携支援） 一般社団法人ドローン大学校（専門的助言・技術支援）
使用機体	Wingcopter 社製 eVTOL 型ドローン「W198」 ※詳細は別紙
検証ルート	①稚内市→利尻島→利尻島国保中央病院（ドローン・陸送） ②利尻島→礼文島→礼文町国民健康保険船泊診療所（ドローン・陸送） ③礼文島→利尻島（ドローン） ④利尻島→稚内市（ドローン）
輸送対象物	①稚内市→利尻島：AED 自動体外式除細動器 ②利尻島→礼文島：搬送用人工呼吸器 ③礼文島→利尻島：緊急気道確保用キット ④利尻島→稚内市：硬膜外麻酔キット、食道静脈瘤圧迫止血用バルーン

（ドローン飛行経路および陸送経路）



2 実証の結果

(1) 飛行・安全運航・輸送品質

区間	飛行	運航安全性	輸送品質
全区間	成功	インシデントなし	輸送対象物に破損・汚損なし 機器類は正常起動

(2) 所要時間³

区間①：稚内市→利尻島→利尻島国保中央病院

輸送手段	所要時間	短縮時間
ドローン+自動車	55 分 (ドローン 34 分+陸路 21 分)	約 1 時間
フェリー+自動車	約 1 時間 56 分 (フェリー約 1 時間 40 分+陸路約 16 分)	

区間②：利尻島→礼文島→礼文町国民健康保険船泊診療所

輸送手段	所要時間	短縮時間
ドローン+自動車	49 分 (ドローン 25 分+陸路 24 分)	約 20 分
フェリー+自動車	約 1 時間 9 分 (フェリー約 45 分+陸路約 24 分)	

区間③：礼文島→利尻島

輸送手段	所要時間	短縮時間
ドローン	11 分	約 34 分
フェリー	約 45 分	

区間④：利尻島→稚内市

輸送手段	所要時間	短縮時間
ドローン	27 分	約 1 時間 13 分
フェリー	約 1 時間 40 分	

³ 陸路の所要時間は、ドローン輸送では着陸場所から医療機関までの実測時間、フェリー輸送ではフェリーターミナルから医療機関までの Google マップ上の所要時間です。

(実証実験の様子)

区間①：稚内市→利尻島→利尻島国保中央病院



AEDをドローンへ格納



稚内市から利尻島へ出発・到着



ドローンカメラ映像



医療機関まで陸送(出発)



医療機関へ AED を引き渡し

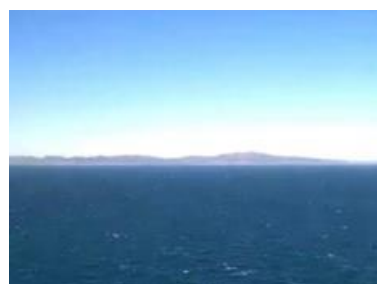
区間②：利尻島→礼文島→礼文町国民健康保険船泊診療所



人工呼吸器をドローンへ格納



利尻島から礼文島へ出発・到着



ドローンカメラ映像



医療機関へ人工呼吸器を引き渡し

区間③：礼文島→利尻島



礼文島から利尻島へ出発・到着



医療機器を積み替え

区間④：利尻島→稚内市



利尻島から稚内市へ出発・到着



ドローンから医療機器を取り出し



輸送物に破損汚損がないことを確認

(各地点をつないだオンライン中継の様子)



3 本実証の成果と意義

(1) 竹山が主体となり実証を推進

2024 年に実施した実証実験では、竹山は主に医療機器の監修・提供を担いました。今回は竹山が主体となり、企画立案、全体統括、医療機関・自治体との調整、輸送対象物の選定を行いました。

プロジェクトメンバーは全員、医療機関への営業や本社での管理業務と兼務しながら準備・実証に取り組みました。今回の実証実験を通じて、竹山が主体となって関係者と連携し運航できることを確認いたしました。今後の実用化に向け、運航体制や運用上の課題を整理してまいります。

(2) 厳しい気象条件下で全区間の飛行を完遂

実施当日は晴天ながら、平均風速 8~10m/s という厳しい気象条件でした。そのような中、全区間で飛行成功したことは、今後の実用化に向け、非常に価値のある成功となりました。

4 実施主体責任者コメント

株式会社竹山 取締役執行役員営業本部長 石井和明

今回の実証では、竹山が主体となり、関係者の皆さまと連携して、稚内市・利尻島・礼文島を結ぶ医療機器輸送に取り組みました。全区間の飛行を完遂し、医療機関までの輸送時間を短縮できたことは、大きな成果だと考えています。

一方で、実用化に向けては、気象条件や運航体制など、引き続き検証すべき点があります。今回得られた知見を整理し、地域の医療機関や自治体、関係各社と連携しながら、地域の実情に即した医療物流の実現を目指してまいります。

株式会社 TSUMUGU HOLDINGS について

TSUMUGU HOLDINGS は、北海道に根ざした地域包括ヘルスケア企業グループとして、医薬品卸売事業、医療機器卸売事業、薬局事業、介護事業、ICT 事業の 5 つの事業を主に運営しています。わたしたちは、お客様、患者様、みなさまが「北海道に生きてよかった」と心から感じられる社会の実現に向けて、これからも努力を続けてまいります。

株式会社竹山について

竹山は、「私たちは『医療活動に対する支援を通じて、人々の健康な暮らしを守り、社会の健全な発展に貢献』します」の企業理念のもと、TSUMUGU HOLDINGS グループの医療機器卸売事業を担う企業として、今後も医療の現場を支えてまいります。

以上

本件に関するお問合せは以下までお願いいたします

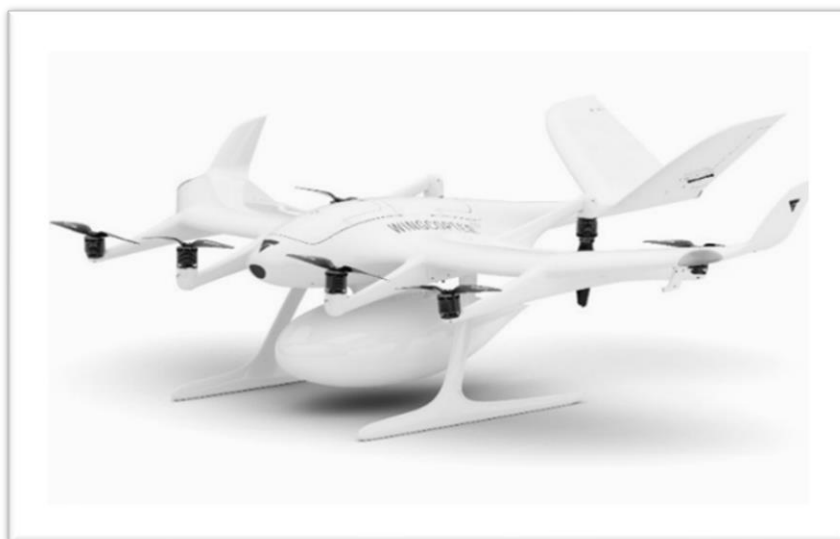
株式会社 TSUMUGU HOLDINGS 広報部

TEL : 011-611-1010 E-mail : hld-pr@tsumuguhd.jp

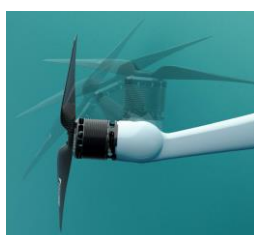
画像データをご希望の方は、上記までお問い合わせください。

【参考情報】

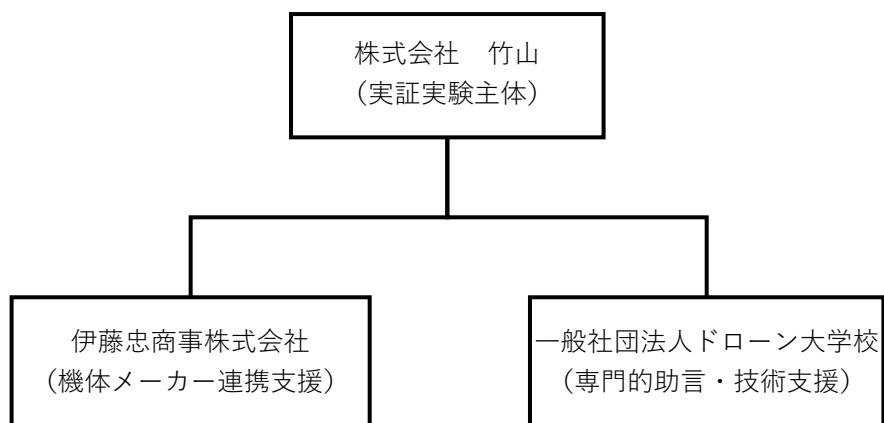
1 使用機体の仕様



製造会社	ドイツ Wingcopter 社
モデル	W198
最大積載量	最大 4.5kg
耐風性	平均 15m/s 突風時 20m/s
巡航速度（標準）	90km/h
最大飛行距離	110km
本体 L x W x H	167cm x 198cm x 66cm
本体重量	24.9kg
機体特徴	● 他社にないプロペラ・ローターの可変機構（特許）により、マルチコプターの垂直離着陸・ホバリング機能と固定翼の高速・長距離飛行の両特性を獲得 ● 垂直離着陸が可能のため、固定翼の飛行特性を持ちつつも追加離発着インフラが不要 ● 完全自律飛行（手動コントローラーなし） ● 世界各国の航空当局の型式認証の取得を目指し、航空機に要求される安全性に準拠する冗長設計を追求 ● 2024 年 3 月 28 日、海外メーカーとして本邦で初めて第一種型式認証の申請を国交省航空局より受理される



2 実証体制と各社の役割



組織	主な役割
株式会社竹山	実証実験の企画立案、全体統括、医療機関・自治体との調整、輸送対象物の選定
伊藤忠商事株式会社	Wingcopter W198 国内代理店として機体メーカーとの連携支援、実証実験に関する助言等
ドローン大学校	ドローン運航に関する専門的知見の提供、飛行計画及び安全管理に関する助言、技術的課題の整理

以上